

HILTI

SF 2H-A

日本語



1	文書について	2
1.1	本書について	2
1.2	記号の説明	2
1.2.1	警告表示	2
1.2.2	本書の記号	2
1.2.3	図中の記号	2
1.3	製品により異なる記号	3
1.3.1	製品に表示されている記号	3
1.4	製品情報	3
1.5	適合宣言	3
2	安全	4
2.1	電動工具の一般安全注意事項	4
2.2	穿孔機に関する安全上の注意	6
2.3	スクリュードライバに関する安全上の注意	6
2.4	その他の安全上の注意	6
3	製品の説明	9
3.1	製品概要	9
3.2	正しい使用	10
3.3	充電状態インジケータ	10
3.4	過負荷保護機構および過熱保護機構	10
3.5	本体標準セット構成	11
4	製品仕様	11
4.1	騒音および振動値について(EN 60745 準拠)	11
5	ご使用方法	12
5.1	バッテリーを装着する	12
5.2	ベルトフックを取り付ける(オプション)	13
5.3	機能を選択する	14
5.4	トルクを設定する ¹⁾	14
5.5	速度を選択する	14
5.6	正逆回転を設定する	15
5.7	スイッチオン	15
5.8	スイッチオフ	15
5.9	先端工具を装着する	15
5.10	先端工具を取り外す	16
5.11	ねじ締め	16
5.12	穿孔(回転のみ)	16
5.13	打撃+回転	16

6	バッテリー装置の手入れと保守	16
7	バッテリー装置の搬送および保管	17
8	故障時のヒント	17
8.1	故障時のヒント	18
9	廃棄	19
10	中国版 RoHS (有害物質使用制限に関するガイドライン)	19
11	メーカー保証	19

1 文書について

1.1 本書について

- ご使用前に本書をすべてお読みください。このことは、安全な作業と問題のない取扱いのための前提条件となります。
- 本書および製品に記載されている安全上の注意と警告表示に注意してください。
- 取扱説明書は常に製品とともに保管し、他の人が使用する場合には、製品と取扱説明書を一緒にお渡しください。

1.2 記号の説明

1.2.1 警告表示

警告表示は製品の取扱いにおける危険について警告するものです。記号と組み合わせると以下の注意喚起語が使用されています：

	危険！ この表記は、重傷あるいは死亡事故につながる危険性がある場合に注意を促すために使われます。
	警告事項！ この表記は、重傷あるいは死亡事故につながる可能性がある場合に注意を促すために使われます。
	注意！ この表記は、軽傷あるいは物財の損傷が発生する可能性がある場合に使われます。

1.2.2 本書の記号

本書では、以下の記号が使用されています：

	使用前に取扱説明書をお読みください
	本製品を効率良く取り扱うための注意事項や役に立つ情報

1.2.3 図中の記号

図中では以下の記号が使用されています：

	この数字は本取扱説明書冒頭にある該当図を示しています
3	付番は図中の作業手順の順序に対応していて、本文の作業手順とは一致しない場合があります

2 日本語

①	概要図には項目番号が付されていて、製品概要セクションの凡例の番号に対応しています
	この記号は、製品の取扱いの際に特に注意が必要なことを示しています。

1.3 製品により異なる記号

1.3.1 製品に表示されている記号

製品には以下の記号が使用されています：

n_0	無負荷回転数
/min	毎分回転数
	直流
	ねじ締め
	回転のみ
	回転 + 打撃(打撃穿孔)

1.4 製品情報

Hilti の製品はプロ仕様で製作されており、本体の使用、保守、修理を行うのは、認定を受けトレーニングされた人のみに限ります。これらの人は、遭遇し得る危険に関する情報を入手していなければなりません。製品およびアクセサリーの使用法を知らない者による誤使用、あるいは規定外の使用は危険です。

機種名および製造番号は銘板に表示されています。

- ▶ 製造番号を以下の表に書き写しておいてください。ヒルティ代理店やサービスセンターへお問い合わせの際には、製品データが必要になります。

製品データ

機種名：	
製品世代：	01
製造番号：	

1.5 適合宣言

当社は、単独の責任において本書で説明している製品が有効な基準と標準規格に適合していることを宣言します。適合宣言書の複写は本書の末尾にあります。

技術資料は本書の後続の頁に記載されています：

Hilti Entwicklungsgesellschaft mbH | Zulassung Geräte | Hiltistraße 6 | 86916 Kaufering, DE

2 安全

2.1 電動工具の一般安全注意事項

△ 警告事項 安全上の注意および指示事項をすべてお読みください。これらを守らないと、感電、火災および / または重傷事故の危険があります。安全上の注意および指示事項が書かれた説明書はすべて大切に保管してください。

安全上の注意で使用する用語「電動工具」とは、お手持ちの電動ツール(電源コード使用) およびバッテリーツール(コードレス) を指します。

作業環境に関する安全

- ▶ 作業場はきれいに保ち、十分に明るくしてください。ちらかった暗い場所での作業は事故を起こす恐れがあります。
- ▶ 爆発の危険性のある環境(可燃性液体、ガスおよび粉じんのある場所)では電動工具を使用しないでください。電動工具から火花が飛散し、粉じんや揮発性ガスに引火する恐れがあります。
- ▶ 電動工具の使用時、子供や無関係者を作業場へ近づけないでください。作業中に気がそらされると、本体のコントロールを失ってしまう恐れがあります。

電気に関する安全注意事項

- ▶ 電動工具の接続プラグは電源コンセントにきちんと適合しなければなりません。プラグは絶対に変更しないでください。アースした電動工具と一緒にアダプタープラグを使用しないでください。オリジナルのプラグと適切なコンセントを使用することにより、感電の危険を小さくすることができます。
- ▶ パイプ、ラジエーター、電子レンジ、冷蔵庫などのアースされた面に体の一部が触れないようにしてください。体が触れると感電の危険が大きくなります。
- ▶ 電動工具を雨や湿気から保護してください。電動工具に水が浸入すると、感電の危険が大きくなります。
- ▶ 電動工具を持ち運んだり、吊り下げたり、コンセントからプラグを抜いたりするときは、必ず本体を持ち、電源コードを持ったり引っ張ったりしないでください。電源コードを火気、オイル、鋭利な刃物、本体の可動部等に触れる場所に置かないでください。コードが損傷したり絡まったりしていると、感電の危険が大きくなります。
- ▶ 屋外工事の場合には、屋外専用の延長コードのみを使用してください。屋外専用の延長コードを使用すると、感電の危険が小さくなります。
- ▶ 湿った場所で電動工具を作動させる必要がある場合は、漏電遮断器を使用してください。漏電遮断器を使用すると、感電の危険が小さくなります。

作業員に関する安全

- ▶ 電動工具を使用の際には、油断せずに十分注意し、常識をもった作業をおこなってください。疲れている場合、薬物、医薬品服用およびアルコール飲用による影響下にある場合には電動工具を使用しないでください。電動工具使用中の一瞬の不注意が重傷の原因となることがあります。

- ▶ 個人用保護具および保護メガネを常に着用してください。けがに備え、電動工具の使用状況に応じた粉じんマスク、耐滑性の安全靴、ヘルメット、耳栓などの個人用保護具を着用してください。
- ▶ 電動工具の不意な始動は避けてください。電動工具を電源および / またはバッテリーに接続する前や本体を持ち上げたり運んだりする前に、本体がオフになっていることを必ず確認してください。オン / オフスイッチが入っている状態で電動工具のスイッチに指を掛けたまま運んだり、電源に接続したりすると、事故の原因となる恐れがあります。
- ▶ 電動工具のスイッチを入れる前に、必ず調節キーやレンチを取り外してください。調節キーやレンチが本体の回転部に装着されたままでは、けがの原因となる恐れがあります。
- ▶ 作業中は不安定な姿勢をとらないでください。足元を安定させ、常にバランスを保つようにしてください。これにより、万一電動工具が異常状況に陥った場合にも、適切な対応が可能となります。
- ▶ 作業に適した作業着を着用してください。だぶだぶの衣服や装身具を着用しないでください。髪、衣服、手袋を本体の可動部に近づけないでください。だぶだぶの衣服、装身具、長い髪が可動部に巻き込まれる恐れがあります。
- ▶ 吸じんシステムの接続が可能な場合には、これらのシステムが適切に接続、使用されていることを確認してください。吸じんシステムを利用することにより、粉じん公害を防げます。

電動工具の使用および取扱い

- ▶ 無理のある使用を避けてください。作業用途に適した電動工具を使用してください。適切な電動工具の使用により、能率よく、スムーズかつ安全な作業が行えます。
- ▶ スwitchに支障がある場合には、電動工具を使用しないでください。スイッチで始動および停止操作のできない電動工具は危険ですので、修理が必要です。
- ▶ 本体の設定やアクセサリーの交換を行う前や本体を保管する前には電源プラグをコンセントから抜くか、バッテリーを取り外してください。この安全処置により、電動工具の不意の始動を防止することができます。
- ▶ 電動工具をご使用にならない場合には、子供の手の届かない場所に保管してください。電動工具に関する知識のない方、本説明書をお読みでない方による本体のご使用はお避けください。未経験者による電動工具の使用は危険です。
- ▶ 電動工具は慎重に手入れしてください。可動部分が引っ掛かりなく正常に作動しているか、電動工具の運転に影響を及ぼす各部分が破損・損傷していないかを確認してください。電動工具を再度ご使用になる前に、損傷部分の修理を依頼してください。発生事故の多くは保守管理の不十分な電動工具の使用が原因となっています。
- ▶ 先端工具は鋭利で汚れのない状態を保ってください。お手入れのゆきとどいた先端工具を使用すると、作業が簡単かつ、スムーズになります。
- ▶ 電動工具、アクセサリー、先端工具などは、それらの説明書に記載されている指示に従って使用してください。その際、作業環境および用途に関

してもよくご注意ください。指定された用途以外に電動工具を使用すると危険な状況をまねく恐れがあります。

バッテリーの使用および取扱い

- ▶ バッテリーを充電する場合は、必ずメーカー推奨の充電器を使用してください。特定タイプのバッテリー専用の充電器を他のバッテリーに使用すると、火災の恐れがあります。
- ▶ 電動工具には、必ず指定されたバッテリーを使用してください。指定以外のバッテリーを使用すると、負傷や火災の恐れがあります。
- ▶ 使用しないバッテリーの近くに、事務用クリップ、硬貨、キー、釘、ネジ、その他の小さな金属片を置かないでください。電気接点の短絡が起こることがあります。バッテリーの電気接点間が短絡すると、火傷や火災が発生する危険があります。
- ▶ バッテリーが正常でないと、液漏れが発生することがあります。その場合、漏れた液には触れないでください。もしも触れてしまった場合は、水で洗い流してください。バッテリー液が眼に入った場合は、水で洗い流してから医師の診察を受けてください。流出したバッテリー液により、皮膚が刺激を受けたり火傷を負う恐れがあります。

サービス

- ▶ 電動工具の修理は必ず認定サービスセンターにお申し付けください。また、必ず純正部品を使用してください。これにより電動工具の安全性が確実に維持されます。

2.2 穿孔機に関する安全上の注意

- ▶ 本体には一緒に納品された補助ハンドルを使用してください。これ以外のハンドルを使用すると、コントロールを失ってけがをする恐れがあります。
- ▶ 先端工具が隠れた電線に接触する可能性のある作業を行う場合は、必ず本体の絶縁されたグリップを持ってください。通電しているケーブルと接触すると、本体の金属部分にも電圧がかかり、感電の危険があります。

2.3 スクリュードライバーに関する安全上の注意

- ▶ 作業の実施に伴いネジが隠れている電線に接触する可能性がある場合は、本体を絶縁されたグリップ面で保持するようにしてください。ネジが通電しているケーブルと接触すると、本体の金属部分にも電圧がかかり、感電の危険があります。

2.4 その他の安全上の注意

作業者に関する安全

- ▶ 本体の加工や改造は絶対に行わないでください。
- ▶ グリップ表面は乾燥させ、清潔に保ち、オイルやグリスで汚さないようにしてください。
- ▶ 休憩を取って緊張をほぐし、指を動かして血の巡りを良くするように心がけてください。

- ▶ ドリルドライバーのランプ(LED)を直接のぞき込んだり、LEDで他の人の顔を照射したりしないでください。眼がくらむ恐れがあります。
- ▶ 回転部分には手を触れないでください。本体の電源は必ず作業場で入れてください。回転部分、特に回転している先端工具は負傷の原因となります。
- ▶ 保護手袋を着用してください。ドリルドライバーは作動中に温度が上昇します。先端工具の交換の際に先端工具に触れると、切創事故や火傷の危険があります。
- ▶ 先端工具とバッテリーの交換、および本体の保管と搬送の際は、スイッチオンロックを作動させてください(正回転 / 逆回転切替えスイッチを中立の位置にします)。
- ▶ 本体は、体の弱い人が指示を受けずに使用するには向いていません。本体は子供の手が届かないところに保管してください。
- ▶ 含鉛塗料、特定の種類の木材、コンクリート / 石材、石英を含む岩石、鋳物および金属などの母材から生じた粉じんは、健康を害する恐れがあります。作業員や近くに居る人が粉じんに触れたり吸い込んだりすると、アレルギー反応や呼吸器疾患を起こす可能性があります。カシヤブナ材などの特定の粉じんは、特に木材処理用の添加剤(クロム塩酸、木材保護剤)が使用されている場合、発ガン性があるとされています。アスベストが含まれる母材は、必ず専門家が取り扱うようにしてください。できるだけ集じん装置を使用してください。集じん効率を高めるには、適切な可動集じん装置を使用してください。必要に応じてそれぞれの粉じんに適した防塵マスクを着用してください。作業場の換気に十分配慮してください。処理する母材について、各国で効力を持つ規定を遵守してください。
- ▶ 作業開始前に、作業場で発生する粉じんの危険有害度を調査してください。公的に承認された保護等級および地域の粉じんに関する規定を満たした工業用集じん機を使用してください。
- ▶ 母材の加工作業で、母材の破砕片が生ずる場合があります。アイシールドを着用してください。破片が身体の一部、眼などを傷つけることもあります。
- ▶ 本体は常に、グリップを掴んで確実に保持してください。先端工具がブロックされると、本体はその高いトルクのために先端工具回転方向と反対の方向へ回転することがあります。

電動工具の慎重な取扱いおよび使用

- ▶ 作業材料を固定します。作業材料を締め付ける時は、クランプあるいは万力を使用してください。この方が手で押さえるよりも確実であり、また本体の操作に両手を自由に使うことができます。
- ▶ 使用する先端工具がチャック機構に適合し、チャック内にしっかりと固定されていることを確認してください。

バッテリーの慎重な取扱いおよび使用

- ▶ バッテリーを装着する前に、本体のスイッチがオフになっていることを確認してください。スイッチがオンになっている電動工具にバッテリーを装着すると、事故が発生する恐れがあります。

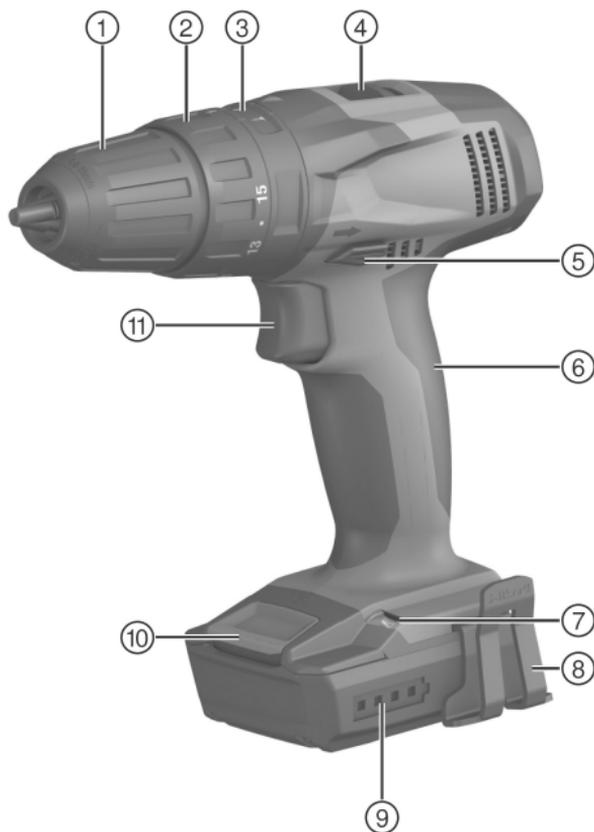
- ▶ バッテリーは高温と火気を避けて保管してください。爆発の恐れがあります。
- ▶ バッテリーを分解したり、挟んだり、80 °C 以上に加熱したり、燃やしたりしないでください。これを守らないと、火事、爆発、腐食の危険があります。
- ▶ 湿気が入らないようにしてください。湿気が浸入すると短絡を引き起こしたり、火傷や火災が発生する可能性があります。
- ▶ Li-Ion バッテリーの搬送、保管、作動については特別規定を守ってください。
- ▶ バッテリーの端子を短絡させないでください。バッテリーを本体に装着する前に、バッテリーの接点と本体の接点に異物が付いていないか確認してください。バッテリーの電気接点が短絡すると、火災や爆発、腐食の恐れがあります。
- ▶ 損傷したバッテリー (例えば亀裂や破損箇所があったり、電気接点が曲がっていたり、押し戻されていたり、引き抜かれているバッテリー) は、充電することも、そのまま使用を続けることもできません。
- ▶ バッテリーが掴むことのできないほどに熱くなっている場合は、故障している可能性があります。本体を監視可能な火気のない場所に可燃性の資材から十分に距離をとって置き、冷ましてください。バッテリーを冷ました後、Hilti サービスセンターにご連絡ください。

電気に関する安全注意事項

- ▶ 作業を開始する前に、作業場に埋設された電線、ガス管や水道管がないかを金属探知機などで調査してください。例えば、作業中に誤って先端工具が電線に触れると、本体の金属部分とケーブルが通電する可能性があります。この場合、感電による重大な事故が発生する危険があります。

3 製品の説明

3.1 製品概要



- | | | | |
|---|------------------------------|---|--------------------------------|
| ① | チャック(クイックリリースチャック) | ⑤ | 正回転 / 逆回転切り替えスイッチ(スイッチオンロック付き) |
| ② | トルク設定リング | ⑥ | グリップ |
| ③ | 機能設定リング(ねじ締め / 穿孔 / 打撃 + 回転) | ⑦ | LED ランプ |
| ④ | 速度選択スイッチ | | |

- ⑧ ベルトフック(オプション)
- ⑨ バッテリー充電状態インジケーター

- ⑩ バッテリーリリースボタン
- ⑪ 無段変速スイッチ(回転数電子制御式)

3.2 正しい使用

本書で説明している製品は、ねじの取付けと取外し、金属、木材およびプラスチックへの穿孔、ならびに石材への回転 + 打撃のための手持ち使用の充電式振動ドリルドライバーです。

Hilti の製品はプロ仕様で製作されており、本体の使用、保守、修理を行うのは、認定を受けトレーニングされた人のみに限ります。これらの人は、遭遇し得る危険に関する情報を入手してなければなりません。振動ドリルドライバーおよびアクセサリーの使用法を知らない者による誤使用、あるいは規定外の使用は危険です。

- ▶ バッテリーを他の電気器具の電源用に使用しないでください。
- ▶ 各国の労働安全衛生法に従ってください。
- ▶ 怪我の可能性を防ぐため、必ずHilti 純正のアクセサリーや先端工具のみを使用してください。
- ▶ 振動ドリルドライバーには、Hilti が承認したバッテリーと C4/12 シリーズの充電器を使用してください。

注意事項

バッテリーを許可された充電器に装着する前に、バッテリーの表面の汚れを落とし、乾かしてください。
充電方法については、充電器の取扱説明書を参照してください。

3.3 充電状態インジケーター

Li-Ion バッテリーの充電状態は、リリースボタンを軽く押すと表示されます。

状態	意味
4 個の LED が点灯。	• 充電状態 : 75 %...100 %
3 個の LED が点灯。	• 充電状態 : 50 %...75 %
2 個の LED が点灯。	• 充電状態 : 25 %...50 %
1 個の LED が点灯。	• 充電状態 : 10 %...25 %
1 個の LED が点滅。	• 充電状態 : < 10 %

注意事項

コントロールスイッチの操作中は充電状態の読み取りは行えません。

3.4 過負荷保護機構および過熱保護機構

本体には電子過負荷保護機構および過熱保護機構が装備されています。過負荷あるいは過熱の際、本体は自動的にオフになります。コントロールスイッチを放して押し直すと、オンになるまでに時間がかかる場合があります(本体の冷却段階)。



注意事項

過負荷または過熱は充電状態インジケーターによっては表示されません。

3.5 本体標準セット構成

振動ドリルドライバー、取扱説明書。



注意事項

安全な作動のために、必ず純正のスペアパーツと消耗品を使用してください。本製品向けに弊社が承認したスペアパーツ、消耗品およびアクセサリーは、弊社営業担当または最寄りのHilti センターにお問い合わせいただくか、あるいはwww.hilti.group でご確認ください。

4 製品仕様

定格電圧	10.8 V	
重量 (EPTA プロシージャ 01 に準拠)	1.2 kg	
全負荷回転数	1 速	0/min ... 400/min
	2 速	0/min ... 1,500/min
トルク (軟材質ネジ用) \ddagger	≤ 12 Nm	
トルク設定 (15 ステップ) \ddagger	0.5 Nm ... 3.5 Nm	
クイックリリースチャックのクランプ	0.8 mm ... 10 mm	
Øドリルビット (軟質木材)	0.8 mm ... 14 mm	
Øドリルビット	0.8 mm ... 10 mm	
Øドリルビット (金属)	0.8 mm ... 6 mm	

4.1 騒音および振動値について (EN 60745 準拠)

本説明書に記載されているサウンドプレッシャー値および振動値は、規格に準拠した測定方法に基づいて測定したものです。電動工具を比較するのにご使用いただけます。曝露値の暫定的な予測にも適しています。

記載されているデータは、電動工具の主要な使用方法に対する値です。電動工具を他の用途で使用したり、異なる先端工具を取り付けて使用したり、手入れや保守が十分でないまま使用した場合には、データが異なる場合があります。このような相違により、作業時間全体で曝露値が著しく高くなる可能性があります。

曝露値を正確に予測するためには、本体のスイッチをオフにしている時間や、本体が作動していても実際には使用していない時間も考慮しなければなりません。このような相違により、作業時間全体で曝露値が著しく低くなる可能性があります。

作業者を騒音および / または振動による作用から保護するために、他にも安全対策を立ててください(例：電動工具および先端工具の手入れや保守、手を冷やさないようにする、作業手順の編成)。

騒音排出値

	SF 2H-A
排出サウンドプレッシャーレベル (L_{pA})	85 dB(A)
サウンドプレッシャーレベルの不確実性 (K_{pA})	3 dB(A)
サウンドパワーレベル (L_{WA})	96 dB(A)
サウンドパワーレベルの不確実性 (K_{WA})	3 dB(A)

合計振動値

	SF 2H-A
ねじ締め排出振動値 (a_h)	0.5 m/s ²
ねじ締めの不確実性 (K)	1.5 m/s ²
金属への穿孔の排出振動値 ($a_{h, D}$)	0.5 m/s ²
金属への穿孔の不確実性 (K)	1.5 m/s ²

5 ご使用方法

5.1 バッテリーを装着する

⚠ 注意

負傷の危険。ドリルドライバーは意図せず始動することがあります。

- ▶ バッテリーを装着する前に、ドリルドライバーのスイッチがオフになっていること、スイッチオンロックが作動していることを確認してください。

⚠ 注意

電気的な危険。電気接点汚れていると短絡が発生することがあります。

- ▶ バッテリーを装着する前に、バッテリーの電気接点とドリルドライバーの電気接点に異物が入っていないか確認してください。

⚠ 注意

負傷の危険。バッテリーが正しく装着されていないと落下することがあります。

- ▶ バッテリーが確実に本体に固定され、落下して作業員およびその他の人が危険にさらされないか、確認してください。



- ▶ ロック音が聞こえるまでバッテリーを装着します。

5.2 ベルトフックを取り付ける(オプション)



警告

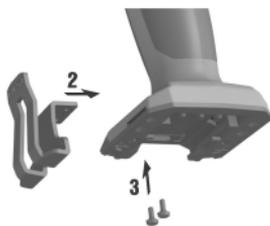
負傷の危険。本体が落下してご自身あるいは他の方が怪我をする恐れがあります。

- ▶ 作業を開始する前に、ベルトフックが確実に固定されていることを確認してください。



注意事項

ベルトフックを使用すると、本体を作業ベルトに差し込んで保持することができます。ベルトフックは、体の右側で使用するようにも左側で使用するようにも取り付けることができます。



- ▶ ベルトフックを取り付けます。

5.3 機能を選択する



- ▶ 希望の機能を選択します。

5.4 トルクを設定する



- ▶ 希望のトルクを設定します。



注意事項

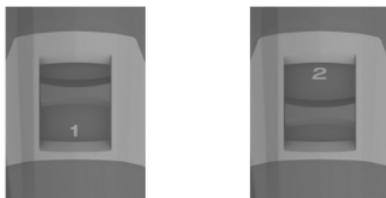
トルクはねじ締め機能[▲]においてのみ制限されます。

5.5 速度を選択する



注意事項

速度選択スイッチはモーターが停止している場合のみ操作することができます。



- ▶ 速度を選択します。

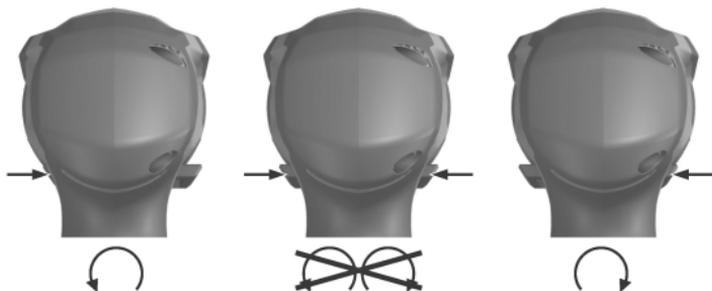
5.6 正逆回転を設定する



注意事項

モーター回転中は、ロック機能によりスイッチの切替ができなくなります。

中立の位置では、コントロールスイッチはブロックされます(スイッチオンロック)。



- ▶ 正回転 / 逆回転切替スイッチを希望の回転方向に設定します。

5.7 スイッチオン

- ▶ コントロールスイッチを押します。
 - ◀ 押し込みの深さにより回転数を制御できます。

5.8 スイッチオフ

- ▶ コントロールスイッチから指を放します。

5.9 先端工具を装着する

1. 正回転 / 逆回転切替スイッチを中立位置にするか、またはバッテリーを本体から取り外します。

- クイックリリースチャックを開きます。
- 先端工具をチャックへ装着し、クイックリリースチャックをしっかりと回します。
- 先端工具がしっかりと固定されているか確認します。

5.10 先端工具を取り外す

- 正回転 / 逆回転切替えスイッチを中立位置にするか、またはバッテリーを本体から取り外します。
- クイックリリースチャックを開きます。
- 先端工具をチャックから引き抜いてください。

5.11 ねじ締め

- 機能設定リングをねじ締め機能①の位置にします。
- トルク設定リングで希望のトルクを設定します。
- 正回転 / 逆回転切替えスイッチで希望の回転方向に設定します。

5.12 穿孔(回転のみ)

- 機能設定リングを穿孔機能②の位置にします。
- 正回転 / 逆回転切替えスイッチを正回転の位置にします。

5.13 打撃 + 回転

- 機能設定リングを打撃 + 回転機能③の位置にします。
- 正回転 / 逆回転切替えスイッチを正回転の位置にします。

6 バッテリー装置の手入れと保守

⚠ 警告

感電による危険！ バッテリーを装着した状態で手入れや保守作業を行うと、重傷事故や火災の原因となることがあります。

▶ 手入れや保守作業の前に必ずバッテリーを取り外してください！

本体の手入れ

- 強固に付着した汚れは慎重に除去してください。
- 通気溝を乾いたブラシで入念に清掃してください。
- ハウジングは必ず軽く湿らせた布で清掃してください。シリコンを含んだ清掃用具はプラスチック部品をいためる可能性があるため使用しないでください。

Li-Ion バッテリーの手入れ

- バッテリーは清潔に保ち、オイルやグリスで汚さないようにしてください。
- ハウジングは必ず軽く湿らせた布で清掃してください。シリコンを含んだ清掃用具はプラスチック部品をいためる可能性があるため使用しないでください。
- 湿気が入り込まないようにしてください。

保守

- 目視確認可能なすべての部品について損傷の有無を、操作エレメントについては問題なく機能することを定期的に点検してください。
- 損傷および / または機能に問題のある場合は、バッテリー装置を使用しないでください。直ちにHilti サービスセンターに修理を依頼してください。
- 手入れおよび保守作業の後は、すべての安全機構を取り付けて機能を点検してください。

7 バッテリー装置の搬送および保管

搬送

△ 注意

搬送時の予期しない始動。バッテリーが装着されていると、搬送時に本体が誤って作動して損傷する可能性があります。

- ▶ 本体は常にバッテリーを装着していない状態で搬送してください。

- ▶ バッテリーを取り外します。
- ▶ 本体とバッテリーは個別に梱包して搬送してください。
- ▶ バッテリーは決して梱包しない状態で搬送しないでください。
- ▶ 本体とバッテリーを長距離にわたって搬送した後は、使用前に損傷がないかチェックしてください。

保管上の注意事項

△ 注意

故障したバッテリーによる予期しない損傷。バッテリーから流れ出た液体で、本体に損傷を与える可能性があります。

- ▶ 本体は常にバッテリーを装着していない状態で保管してください。

- ▶ 本体とバッテリーは、できるだけ涼しくて乾燥した場所に保管してください。
- ▶ バッテリーを太陽の直射下、ラジエーターの上、窓際等で保管しないでください。
- ▶ 本体とバッテリーは、子供や権限のない人が手を触れることのないようにして保管してください。
- ▶ 本体とバッテリーを長期間にわたって保管した後は、使用前に損傷がないかチェックしてください。

8 故障時のヒント

この表に記載されていない、あるいはご自身で解消することのできない故障が発生した場合には、弊社営業担当またはHilti サービスセンターにご連絡ください。

8.1 故障時のヒント

故障	考えられる原因	解決策
本体が作動しない。	バッテリーが完全に装着されていない。	▶ バッテリーを「カチッ」と音がするまでロックする。
	バッテリーが放電している。	▶ バッテリーを充電する。
コントロールスイッチが押せない、あるいは動かない。	正回転 / 逆回転切替えスイッチが中立位置。	▶ 正回転 / 逆回転切替えスイッチを右または左へ押す。
バッテリーの消耗が通常よりも早い。	周囲温度が低すぎる。	▶ バッテリーをゆっくり室温まで暖める。
バッテリーが「カチッ」と音がするまでロックされない。	バッテリーのロックノッチが汚れている。	▶ ロックノッチを清掃してバッテリーをロックする。問題が再発する場合はHilti サービスセンターに連絡する。
本体あるいはバッテリーが熱くなる。	電氣的故障。	▶ 本体の電源を直ちに切ってバッテリーを取り外して観察する、バッテリーを冷ましてHilti サービスセンターに連絡する。
	本体に負荷がかかり過ぎている(適用基準を超えている)。	▶ 用途に適した本体を選択する。

9 廃棄

⚠ 警告

負傷の危険。誤った廃棄による危険があります。

- ▶ 機器を不適切に廃棄すると、以下のような問題が発生する恐れがあります：プラスチック部品を燃やすと毒性のガスが発生し、人体に悪影響を及ぼすことがあります。電池は損傷したりあるいは激しく加熱されると爆発し、毒害、火傷、腐食または環境汚染の危険があります。廃棄について十分な注意を払わないと、権限のない者が装備を誤った方法で使用する可能性があります。このような場合、ご自身または第三者が重傷を負ったり環境を汚染する危険があります。
- ▶ 故障したバッテリーはただちに廃棄してください。廃棄したバッテリーは子供の手の届かない所に置いてください。バッテリーを分解したり、燃やしたりしないでください。
- ▶ バッテリーは各国の法律規制に従って廃棄するか、使わなくなったバッテリーはHiltiへ返送してください。

♻ Hilti 製品の大部分の部品はリサイクル可能です。リサイクル前にそれぞれの部品は分別して回収されなければなりません。多くの国でHiltiは、古い電動工具をリサイクルのために回収しています。詳細については弊社営業担当またはHilti 代理店・販売店にお尋ねください。



- ▶ 本体を一般ゴミとして廃棄してはなりません。

10 中国版 RoHS (有害物質使用制限に関するガイドライン)

下記のリンクより、有害物質を記載した表を確認できます：
qr.hilti.com/r4827450。

本書の最終ページに RoHS 表にリンクした QR コードがあります。

11 メーカー保証

- ▶ 保証条件に関するご質問は、最寄りのHilti 代理店・販売店までお問い合わせください。



Hilti Aktiengesellschaft
Feldkircherstraße 100
9494 Schaan | Liechtenstein

SF 2H-A (01)

[2014]

2006/42/EG

EN ISO 12100

2011/65/EU

EN 60745- 1

2014/30/EU

EN 60745-2- 2

Schaan, 09/2015

Paolo Luccini

Head of BA Quality and
Process-Management
BA Electric Tools & Accessories

Tassilo Deinzer

Executive Vice President
BU Electric Tools & Accessories





Hilti Corporation

LI-9494 Schaan

Tel.: +423/234 21 11

Fax: +423/234 29 65

www.hilti.group

Hilti = registered trademark of Hilti Corp., Schaan

Printed: 30.05.2017 | Doc-Nr: PUB / 5251754 / 000 / 01



20170512